

報道関係各位

公益財団法人東京二期会

## ～二期会シーズン・オープニング・コンサート～

# 日本のオペラ界を牽引するソプラノ 幸田浩子主演！

## 愛と歴史の壮大な大河オペラ 『清教徒』 上演

2019年9月1日(日) 14:30 横浜みなとみらいホール 大ホール  
チケット発売中！

### ベルカント・オペラの最高峰！ 愛と歴史の壮大な大河オペラを奇跡のキャスティングで！

公益財団法人東京二期会ならびに株式会社二期会21は、2019-20オペラ・シーズンの幕開けとなるコンサートを、横浜みなとみらいホール 大ホールで開催します。演目は、ベッリーニの『清教徒』です。ベッリーニは、ロッシーニやドニゼッティとともに「ベルカント・オペラ」を代表する作曲家です。横浜みなとみらいホールでの主催公演は、東京二期会にとって初の開催です。

本公演では、ベッリーニのもうひとつの代表作であり最後のオペラでもある『清教徒』を演奏会形式で上演いたします。非常に高度な歌唱テクニックが要求され、その歌の技巧を最大限に發揮させる名技性に優れた、多彩でドラマティックな表現にあふれる、ベルカント・オペラの最高峰に位置する作品です。17世紀のイングランドを舞台に、対立する二つの勢力(議会党[清教徒]と王党派)の中で生まれた愛。大きな歴史流れの中で、誤解や嫉妬が渦巻きますが、最後は愛し合う二人が結ばれるという、シーズン・オープニング・コンサートにふさわしい大団円を迎えます！



## ●あらすじ●

17世紀半ばのイングランド。議会党派(清教徒)のリッカルドは、エルヴィーラとの結婚の許可を彼女の父親であるヴァルトン卿から得ていたにもかかわらず、戦場から帰ってくると、エルヴィーラは敵対する王党派のアルトゥーロに惹かれ、彼と結婚することになっていた。人々が城内に集まり結婚を祝っていたが、アルトゥーロは、その城に故チャールズ一世の王妃エンリケッタが捕らわれていることを知り、王妃を逃すために二人で城を脱出する。残されたエルヴィーラは、彼が他の女性と逃げたと勘違いをし、悲鳴をあげて錯乱する。王妃を無事逃したアルトゥーロは戻ってきていた。エルヴィーラは、すべての事情を知って正気を取り戻したのだが、議会党派の兵士によって、アルトゥーロは捕らわれ、リッカルドが彼の死刑を宣告する。しかし、死刑となる直前に、王党派の決定的な敗北による戦いの終わりが告げられる。もはや敵ではなくなったアルトゥーロの罪も消滅し、エルヴィーラと彼は喜びの中で結ばれる。



幸田浩子

聴きどころは、なんといっても、主人公エルヴィーラ役の幸田浩子です。早くから欧州の主要歌劇場へ次々とデビューし、2000年には名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約。『魔笛』夜の女王役を始め、数々の重要な役を務めました。帰国後も『ばらの騎士』ゾフィー、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネットタ、『こうもり』アデーレなど、多くの名舞台で活躍、日本を代表するソプラノ歌手としての評価を搖るぎないものとしています。

エルヴィーラ役は、高音の美声、高度な技巧が要求されるソプラノ歌手にとっての大役ですが、ベッリーニの出身地であるカタニヤ市にある、彼の名が冠されたベッリーニ大劇場でもエルヴィーラを演じた経験があり、充実の時を過ごす幸田浩子が、この屈指の難役をいかに歌い上げるかにご注目ください！

また、アルトゥーロ役には超絶の高音の持ち主の大澤一彰、リッカルド役には長年ウィーン国立歌劇場専属ソリスト歌手を務めた甲斐栄次郎がキャスティングされました。これほど高水準の歌手が一堂に会した『清教徒』上演はなかなかなく、非常に貴重な機会となること間違いありません！

管弦楽は、会場である横浜みなとみらいホールで定期演奏会を行なっている神奈川フィルハーモニー管弦楽団が務めます。指揮するのは、現在、フランクフルト歌劇場の指揮者である森内剛。日本では、2016年東京二期会『フィガロの結婚』富山公演でデビュー。2019年5月にはヴェルディ『運命の力』公演中に急病を患ったガエターノ・ソリマンに代わって急遽第4幕を指揮してフランクフルト歌劇場デビューし、2019年秋には『マノン・レスコー』で再びピットに立つ予定となっている注目の若手指揮者です！



森内 剛 ©Reinhard Winkler

<二期会シーズン・オープニング・コンサート>

ヴィンチェンツォ・ベッリーニ作曲

# 『清教徒』

〈演奏会形式上演〉

オペラ全3幕 日本語字幕付き原語(イタリア語)上演

2019年9月 1日(日) 14:30  
横浜みなとみらいホール 大ホール

主催：公益財団法人東京二期会  
株式会社二期会 21

共催：公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団

---

●一般のお客様からのお問合せ 二期会チケットセンター TEL:03-3796-1831

## 森内 剛 指揮 Takeshi MORIUCHI

東京都出身。国立音楽大学（ピアノ専攻）在学中に指揮を始め、故クルト・レーデルによる指揮講習会などで研鑽を積み、卒業後に渡欧。ザルツブルク・モーツアルテウム大学にて指揮をデニス・ラッセル・ディヴィス、ホルヘ・ロッターらに師事。同大学オペラ公演『秘密の結婚』でオペラデビューしたほか、国際音楽祭ヤング・プラハ、ブレゲンツ音楽祭などで指揮者としての経験を積んだのち、2009年にオーバーエスター州立リンツ歌劇場（オーストリア）のコレペティートアに就任。2013年にはカペルマイスターに昇任、2017年にはオペラ研修所の音楽主任を任せられ、リンツでの9シーズンでモーツアルト、ヴェルディの主要作品のほか『白鳥の湖』『エフゲニー・オネーゲン』『ジークフリート』『ラ・ボエーム』『ヘンゼルとグレーテル』『ばらの騎士』『ヴェニスに死す』など250に及ぶレパートリー公演を指揮。

東京二期会では、2015年に『魔笛』（演出：宮本亜門、リンツ歌劇場と東京二期会の共同制作）でデニス・ラッセル・ディヴィスのアシスタントを務めたのを皮切りに、2016年『フィガロの結婚』富山公演で指揮デビュー。2017年には『ばらの騎士』でセバスティアン・ヴァイグレのアシスタントを務めたのをきっかけに、同氏に招かれ2018/19シーズンよりフランクフルト歌劇場のシュトゥーディエンライター就任。主席コレペティートア、音楽チーフとして同劇場の膨大なレパートリーを支える傍ら、音楽総監督セバスティアン・ヴァイグレのほか、ロレンツォ・ヴィオッティ、ダヴィッド・アフカム、コンスタンティノス・カリディス、シュテファン・ショルテス、シリヴァン・カンブルランらゲスト指揮者のアシスタントとして現場に立つ。2019年5月にはヴェルディ『運命の力』公演中に急病を患ったガエターノ・ソリマンに代わって急遽第4幕を指揮してフランクフルトデビュー。2019年秋には『マノン・レスコー』で再びピットに立つ予定となっている。

## 幸田 浩子 ソプラノ Hiroko KOUDA

東京藝術大学を首席で卒業。同大学院、及びオペラ研修所修了後、ボローニャ並びにウィーンに留学。数々の国際コンクールで上位入賞後、欧州の主要歌劇場へ次々とデビュー。カターニア・ベッリーニ大劇場『清教徒』エルヴィーラ、ローマ歌劇場『ホフマン物語』オランピア、シュトゥットガルト州立劇場『皇帝ティトの慈悲』セルヴィーリア等大舞台で重要な役を演じ、オペラの母国で豊かな経験を積む。2000年には名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約し、『魔笛』夜の女王、『ファルスタッフ』ナンネット等に出演。帰国後は、『ばらの騎士』ゾフィー、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネット、『こうもり』アデーレ等で好評を博す。近年では新国立劇場『ホフマン物語』オランピア、びわ湖ホール『リゴレット』ジルダ、二期会『魔笛』パミーナで絶賛された。また、幸田を"かぐや姫"役に想定して指揮者沼尻竜典氏が作曲したオペラ『竹取物語』は、2014年の初演以降も、2015年2月のハノイ公演、8月びわ湖ホールでの舞台上演日本初演と、いずれも称賛されている。

その他主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルなど多彩な活動を展開。

メディアへの登場も多く、NHK-FM「気ままにクラシック」で笑福亭笑瓶氏と4年間パーソナリティを務め、BSフジの音楽&トーク番組「レシピ・アン」ではメインMCとして出演。

2018年にはCDデビュー10周年を記念し、名匠ラルフ・ワイケルト指揮による《ARIA～花から花へ～オペラ・アリア集》をリリース。

2019年7月6日には紀尾井ホールにて「幸田浩子オペラティック・リサイタル－ARIA 花から花へ－」を開催。

9月1日には二期会オペラ・シーズン・オープニング・コンサート『清教徒』にエルヴィーラ役で出演予定。

第14回五島記念文化賞オペラ新人賞、第38回エクソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。

第3代クルーズアンバサダー（クルーズ振興大使）。

二期会会員

HP <http://columbia.jp/koudahiroko/>

## 甲斐 栄次郎 バリトン Eijiro KAI

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ第39期修了（最優秀賞、川崎靜子賞）。オペラ研修所第11期修了。ニューヨークとボローニャでの研鑽後、2003年から10年間、ウィーン国立歌劇場のソリスト歌手として活躍、ノッティンガム公爵、エンリーコ、ベルコーレ、シャープレス、マルチェッロ、レスコー役等をはじめとする42役、336公演に出演。国内では、東京二期会『フィガロの結婚』タイトルロール、小澤征爾指揮『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、新国立劇場『鳴神』鳴神上人、『蝶々夫人』シャープレス等で出演。「第九」、「ドイツ・レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、「エリヤ」等のソリストとしても活躍。東京藝術大学准教授。聖徳大学客員教授。洗足学園音楽大学客員教授。二期会会員。著書「ライカで綴る古都ウィーン」（2012年、アートディズ刊）。

## 大澤 一彰 テノール Kazuaki OSAWA

東京藝術大学卒業、ローマで研鑽を積む。第44回日伊声楽コンクール第1位。第1回ルーマニア国際音楽コンクール声楽部門第1位、及び全部門より最優秀賞。新聞紙上にて「耳を奪う美声」と絶賛される。オペラでは常にプリモテノールを務めており、『蝶々夫人』ピンカートン、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『トゥーランドット』カラフ、『トスカ』カヴァラドッシ等出演、「豊かな美声を長いブレスで聴かせ、役作りも的確。大柄な身体が舞台映えする（音楽の友誌）」といずれも高評を得る。2012年二期会カリニャーニ指揮『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥリッドウのドラマティックな歌唱は、NHKプレミアムシアターで全国放映された。'13年「第56回NHKニューイヤーオペラコンサート」出演。現代作品にも優れ、'14年日生劇場『リア』（日本初演）では、複雑なリズムと超高音が連続するエドマンドを歌い、作曲者ライマンより最大級の賛辞を受ける。'14、'15年、両国国技館『5000人の第九』ソリスト。二期会会員  
<http://www.k-osawa.com/>

## ジョン ハオ （鍾皓） バス Hao ZHONG

中国中央音楽学院卒業、中国中央オペラハウスにて活躍。'05年に来日し、東京藝術大学大学院修士課程修了。第38回イタリア声楽コンクール・シェナ大賞受賞。これまでに、東京二期会『ナブッコ』ザッカーリア、『マクベス』バンロー、兵庫県立芸術文化センター『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、日生劇場『フィデリオ』ドン・ピツアロ等で主要な役を演じ、存在感のある美声のバスとして好評を博す。いずみホール『魔笛』ザラストロ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長も演じており、'14年東京二期会『ドン・カルロ』フィリップ二世では、品格のある演唱が絶賛を博す。また'18年にはグランドオペラ共同制作『アイーダ』エジプト国王等に出演。コンサート・ソリストとしても、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「千人の交響曲」等で活躍。2017年には「NHKニューイヤーオペラコンサート」に初出場した。二期会会員

## 峰 茂樹 バス Shigeki MINE

国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修了。文化庁在外研修員としてイタリア・ミラノに留学。これまでに東京二期会では『フィガロの結婚』バルトロ、『椿姫』ドビニー侯爵、『蝶々夫人』ポンゾ、『天国と地獄』バッカス、『トスカ』堂守等に出演したほか、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『ルル』劇場支配人、『リア』グロスター伯等を演じる。新国立劇場においては、『運命の力』カラトラーヴァ侯爵、『トスカ』シャルローネ、『愛怨』隆祥、『夜叉が池』鯰入等で出演し、多くの作品でその存在感を發揮している。殊に『夕鶴』惣ど役においては、多くのプロダクションに出演を重ね、2019年3月のオペラ『夕鶴』～「ロシアにおける日本年」ロシア公演でも好演。卓越した表現力と優れた演唱で高い評価を得ている。二期会会員

## 加藤 のぞみ メゾソプラノ Nozomi KATO

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程首席修了。明治安田クオリティオブライフ文化財団助成金を受け渡欧。パルマ国立アッリーゴ・ボイト音楽院を経て、バレンシア歌劇場歌手育成プログラムにて研修。これまでに多くの劇場で『蝶々夫人』スズキを演じたほか、ヴァッレ・ディトリア音楽祭『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、ビルバオでの『ノルマ』アダルジーザ等で出演。東京二期会には2015年『リゴレット』マッダレーナでデビュー。2016年には「NHKニューイヤーオペラコンサート」に初出演。今後は2019年10月グランドオペラ共同制作『カルメン』タイトルロール（日本）、2020年オヴィエド歌劇場『蝶々夫人』スズキ（スペイン）が予定されている。第43回イタリア声楽コンクールミラノ大賞部門第1位。第1回グランダーテ国際オペラコンクール第1位。バレンシア在住。二期会会員

## 伊藤 達人 テノール Tatsundo ITO

東京藝術大学卒業、同大学院を経て、新国立劇場オペラ研修所第14期修了。文化庁在外研修員としてベルリンに留学。2016年、世界的に注目を集めるシモーネ・ヤング指揮によるオペラ『ナクソス島のアリアドネ』ブリゲッラ役で東京二期会公演にデビュー。新進気鋭の若手テノールとして注目を集め、その後も、日生劇場公演『魔笛』や『ヘンゼルとグレーテル』等に出演し好評を博す。オペラ以外にも2015年新国立劇場演劇制作・ミュージカル『パッション』にトラッソ中尉役に出演したほか、コンサートでもベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等、ソリストとして活躍。今後は2020年オペラ夏の祭典『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』への出演が予定されている。二期会会員

二期会シーズン・オープニング・コンサート

# ベッリーニ 『清教徒』 <演奏会形式上演> (全3幕 日本語字幕付原語[イタリア語]上演)

台本：カルロ・ペーポリ 作曲：ヴィンченツォ・ベッリーニ

2019年9月1日(日)14:30開演 (14:00開場)

横浜みなとみらいホール 大ホール

指揮：森内 剛

合唱：二期会合唱団 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

## 【キャスト】

エルヴィーラ：幸田浩子

アルトゥーロ：大澤一彰

リッカルド：甲斐栄次郎

ジョルジオ：ジョン・ハオ

ヴァルトン：峰 茂樹

エンリケッタ：加藤のぞみ

ブルーノ：伊藤達人

※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。

料金(全席指定・税込)：S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席4,000円 学生席2,000円

※学生席のご予約は二期会チケットセンター電話のみのお取扱いです。 ※未就学児入場不可

発売日：2019年6月14日（金）

## <チケットご予約・お問合せ>

チケットスペース TEL:03-3234-9999 [チケットスペースオンライン](#)

二期会チケットセンター TEL:03-3796-1831 [二期会チケット](#)

## <プレイガイド>

チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード155-212) <http://pia.jp/>

ローソンチケット0570-000-407 (Lコード32709) <http://l-tike.com/>

イープラス<http://eplus.jp/>

神奈川フィル・チケットサービス045-226-5107 (平日10:00～18:00) [www.kanaphil.or.jp](http://www.kanaphil.or.jp)

横浜みなとみらいホールチケットセンター045-682-2000 (電話予約10:00-17:00／休館日・保守点検日は休業)

主催：公益財団法人東京二期会 株式会社二期会 21

共催：公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団

協力：横浜みなとみらいホール (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

協賛：ダイドー株式会社 上野トランステック株式会社 日本コロムビア株式会社